

開館20周年記念特別企画展Ⅰ

すみすり

Modeling of Akama inkstone
赤間硯の造形

2016 10/18 tue. >>> 2017 1/15 sun.

赤間硯(下関市)でつくられたところから赤間硯とも呼ばれる「赤間硯」は、その起源が鎌倉時代初期まで遡るとされる代表的な和硯です。江戸時代には、大森家が長府藩(萩藩の支藩)の御用硯師を務めるなど質的に高い水準の作硯技術を発達させ、実用的な書硯から文様彫琢を巧みに施した観賞硯まで幅広い制作がおこなわれました。このたびは近世赤間硯の伝世品から下関市や宇部市で制作された現代の「赤間硯」までを展示して、その豊かな造形性を紹介します。

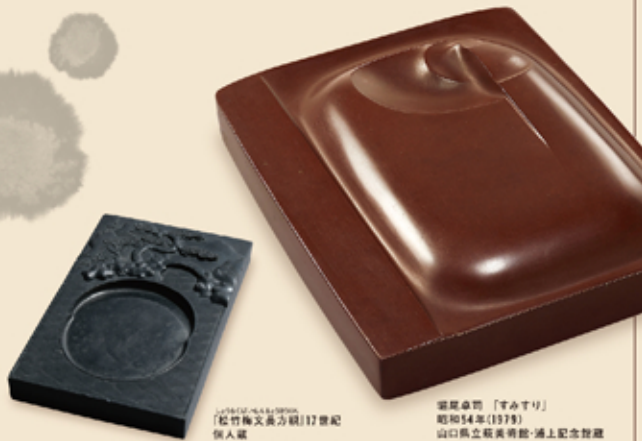
【休館日】10月31日(月)、11月7日(月)、11月21日(月)、12月12日(月)、12月26日(月)~1月1日(日・祝)

【開館時間】9:00~17:00(入場は16:30まで)

【会場】陶芸館2階展示室

【主催】20周年記念展実行委員会

(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、yab山口朝日放送)



「すみすり」
[松竹梅文様硯]17世紀
個人蔵

「すみすり」
昭和54年(1979)
山口県立萩美術館・浦上記念館蔵

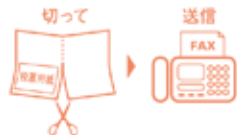
- アーティスト・トーク
 - ・堀尾 信夫氏(硯作家、山口県指定無形文化財「赤間硯」保持者)
【日時】11月27日(日) 14:00~15:00
 - ・日枝 陽一氏(硯作家)
【日時】1月8日(日) 14:00~15:00
- ギャラリーツアー
【日時】11月13日(日)、12月11日(日) 11:00~12:00

【観覧料】一般300(240)円、学生200(160)円

※()は20名以上の団体料金。70歳以上の方と18歳以下の方、高等学校・中等教育学校・特別支援学校の生徒は無料。
※身体障害者手帳、戦傷病者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご提示の方とその介護者(1名)は無料。

【わくわく☆うきうき!プレゼント】あなたが観たい名品はどれ?? - 投票用紙 -

ふりがな お名前	あなたが観たい 作品の番号
ご住所 〒 - 都道府県	
電話番号 () -	



※FAXで投票する場合、A4サイズ以下の紙の送信が難しいFAX機では、チラシを半分にするなどして送信してください。
※ご記入くださった個人情報、本イベント以外では使用しません。

FAX 0838-24-2403

交通のご案内

- 【新山口駅から】
●直行バス[スーパーはぎ号](約60分)で萩・明倫センター下車。
萩・明倫センターから徒歩約5分。
●防長バスまたは中国JRバス(約70~95分)で萩バスセンター下車。
萩バスセンターから徒歩約12分。

- 【山口中野空港、または萩・石見空港から】
●萩近鉄タクシー(乗合タクシー)約70~80分。
(利用前日までに要予約。電話0838-22-0924)

- 【JR山陰本線】
●JR萩駅から萩循環まよるバス(西回り)約30分。
●JR東萩駅から萩循環まよるバス(東回り)約30分。
●JR玉江駅から徒歩約20分。

- 【自動車】
●中国自動車道・美祿東JCT経由。
[小郡道路]陸室ICから約20分。
●山陰自動車道三見ICから約10分。国道191号沿い。



山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1
Tel:0838-24-2400
URL <http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>

やきもので わくわく 浮世絵に うきうき

開館20周年記念特別企画展Ⅰ

東洋陶磁と浮世絵
館蔵名品選



見ッあ
やッれ
んッが
すッえ

Oriental Ceramics and Ukiyo-e 2016/9/10 sat. > 10/16 sun.

山口県立萩美術館・浦上記念館

【休館日】10月3日(月) 【開館時間】9:00~17:00(入場は16:30まで)
【観覧料】一般1,000円(800円) 70歳以上の方・学生800円(600円)

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。※18歳以下の方、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校の生徒は無料。※常設展示(陶芸館展示室)をご覧になる場合、別途観覧料が必要です。※身体障害者手帳、戦傷病者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご提示の方とその介護者(1名)は無料。※前売券は、ローンチケット(Lコード82251)、セブンチケットおよび県内各プレイガイドでお求めいただけます。

【主催】20周年記念展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、yab山口朝日放送)
【後援】山口県教育委員会、萩市、萩市文化協会、萩陶芸家協会
【特別協力】エフエム山口

おかげさまで
1996-2016
20周年
20th ANNIVERSARY

山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM
〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1 Tel:0838-24-2400
URL <http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>

左: 吉原月夜文楽舞踊内蔵巻、昭和時代、19~19世紀
右: 萩藩本陣(萩藩無くてはなぐさ) 築城時(部分)大内陣跡 享和期(1801~1804)頃

エキゾチックな
やきもの

1

三彩長頸瓶

唐時代 8世紀
二色以上の色釉を使ったカラフルな模様の三彩。青銅製の瓶をまねた金属的なフォルムもあってエキゾチックな雰囲気です。



2

わくわく
何が
入っているの？

青磁象嵌菊花文薬器

高麗時代 12世紀

当時は何を入れて使っていたのでしょうか？これは同形の器で「高麗風」の文字を刻むものがあることから、薬入れと考えられています。



砂漠に船？!

3

加彩駱駝

北魏時代 6世紀

「砂漠の船」とも呼ばれるラクダ。人や荷物を運ぶ大変な仕事していましたが、表情をみるとそんな旅にも楽しい場面があったのかと観る人の想像をかき立てます。



4

おしどりと色彩が
マッチしてるね

五彩鴛鴦文皿

明時代・万暦在銘 1573~1620年

互いを愛おしく見つめながら静かな蓮池の水面を泳ぐおしどりの夫婦。愛情あふれる晴れやかな光景に鮮やかな色の五彩が花を添えています。



特別記念講演会

芸術って楽しいの？何か役に立つの？

1 演題 「芸術の愉しみ」
講師 伊藤 郁太郎氏
(大阪市立東洋陶磁美術館名誉館長)
日時 9月10日(土) 13:30~15:00

意外と知らない!?美術館コレクションって?

2 演題 「充実する浦上記念館の収集と活動」
講師 佐藤 光信氏
(公益財団法人 平木淳徳財団常務理事)
日時 9月17日(土) 13:30~15:00

蒐集家浦上氏がつくり上げたコレクションの魅力

3 演題 「朝鮮と中国のやきもの
コレクター浦上氏とそのコレクションの魅力」
講師 西田 宏子氏
(公益財団法人 櫻津美術館顧問)
日時 9月22日(木・祝) 13:30~15:00

世界が認めた、浮世絵の魅力とは…?

4 演題 「浮世絵の魅力」
講師 小林 忠氏
(岡田美術館館長、学習院大学名誉教授)
日時 10月1日(土) 13:30~15:00

※会場は、いずれも山口県立萩美術館・浦上記念館 講座室(84席)

聴講無料
申込不要

やきもので
わくわく
浮世絵に
うきうき

山口県立萩美術館・浦上記念館は、今年で開館20周年を迎えます。

当館は、萩市出身の浦上敏朗氏が東洋陶磁や浮世絵版画を中心とする美術品を山口県に寄贈したことを契機に、新しい芸術文化の発信拠点にふさわしい特色ある美術館として平成8年(1996年)に開館しました。

本展では、浦上コレクションを出発点に、これまで内容の充実を目指して成長してきた東洋陶磁と浮世絵から選りすぐった作品を展示します。「赤富士」と呼ばれる浮世絵の名品、葛飾北斎の「富嶽三十六景 颯風快晴」。好奇心を刺激するリス形の把手や体いっばいに物語を表現した朝鮮陶磁の名品「青花月兎文栗鼠耳角扁壺」など、普段ご覧いただくことのない構成で、やきものと浮世絵の新たな魅力を192点の名品とともにご紹介します。どうぞ心ゆくまでお楽しみください。



うきうき大好き、富士山

葛飾北斎「富嶽三十六景 颯風快晴」

横大判錦絵、天保2~5年(1831~1834)

シンプルな構図に、赤・青・緑のコントラストがお見事！
聖なる山をこんなに近くで見たら、ステキな一日になりそう！



雪の降る夜…

歌川広重「東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪」

横大判錦絵、天保4~5年(1833~1834)

しんと雪が降る夜、山道を人々が行き交います。
静けさと寂しさが心に染みる、風景画の傑作。

8

ギャラリー・ツアー

(担当学芸員による作品解説です。)

日時 【浮世絵】9月11日(日)・9月25日(日)・10月9日(日)
【やきもの】9月18日(日)・10月2日(日)・10月16日(日)
各日、11:00~12:00

会場 【浮世絵】本館1階展示室
【やきもの】本館2階展示室

観覧券
が必要

こどもギャラリー・ツアー

(担当学芸員による作品解説です。)

日時 【やきものと浮世絵】
9月24日(土) 11:00~12:00

小学生以上を対象にした
展示解説です。
もちろん、おとなの方も
参加自由です！
よりわかりやすい
展示解説を行います。

【わくわく☆うきうき!イベント】 あなたが観たい名品はどれ??

投票!

出品作品のなかで、とくにオススメする8点の作品(左に掲載の1~8の作品)から、あなたが一番観たい作品に投票してください!ベスト1位~3位をお選びいただいた方のなかから抽選で、本展開会式・内覧会へご招待いたします。

【投票期間】7月1日(金)~8月16日(火) ※最終日は16:30まで

【投票方法】山口県立萩美術館・浦上記念館に設置の投票箱®に直接投票、またはチラシ裏面の投票用紙に必要事項を記入してFAX(0838-24-2403)で送信して投票してください。 ※当館エントランスに設置

【ご招待】50名様を本展開会式・内覧会へご招待!

さらに!開会式・内覧会当日にご出席された方に限り、招待状1枚につき本展図録1部をプレゼントいたします。

【開会式・内覧会日時】9月9日(金)14:00~16:00

【当選発表】「開会式・内覧会招待状」の発送をもってかえさせていただきます。 ※8月中に発送予定。



写楽、下迫力!

5

東洲斎写楽

「三代目瀬川菊之丞の

田辺文蔵妻おしづ」

大判錦絵、寛政6年(1794)

男の役者が演じる女の表情が強烈!背景は黒く輝いて…その怪しさにドキドキ。
謎の絵師写楽、下迫力の一品。

6

喜多川歌麿

「難波屋おきた」

大判錦絵、寛政5年(1793)

浅草にあった水茶屋、難波屋の看板娘おきたは、まさに江戸のアイドル。
笑顔にキュンとしちゃいます。

お江戸の
美少女
アイドル

